

Amir Tsarfati 氏
アミールより、ひとこと
2019年1月21日公開

.....
みなさん、シャローム。アミール・ツアルファティです。フィリピンからの帰路で、シンガポールにいます。とても興味深いことに、イラン空軍の司令官が、数分前に次のように発言しました。

「我々の武装軍隊は、最終戦に向けて準備をしている。その戦いで、イスラエルは破滅するのだ。」

将官^{アズイズ ナシルザダ}Aziz Nasirzada、これが彼の名前です。

イランは、数時間前にイスラエルが、伝達システム、諜報施設、訓練センター、武器庫、それから、彼らがあちらに所有している、流れを変える装備の保管庫を破壊した時、大打撃を受けています。

そして彼らは、かなり鬱憤^{うっぶん}が溜まっているのです。

ともかく、イラン空軍のトップである 将官^{アズイズ ナシルザダ}Aziz Nasirzadaが、つい先ほど言いました。

「イランの武装軍隊が、イスラエル破滅に向けて準備している。」

まず第一に、イランはエゼキエル戦争の中で、非常に重大な役割を果たすことを、私たちは知っています。しかしまた、私たちが知っているのは、神が介入され、彼らが超自然的に破滅するという事です。

しかしながら、将官^{ナシルザダ}Nasirzadaに、聖書の御言葉をお読みしたいと思います。

エレミヤ書 31:35-36 です。

35 主はこう仰せられる。主は太陽を与えて昼間の光とし、月と星を定めて夜の光とし、海をかき立てて波を騒がせる方、その名は万軍の主。

36 「もし、これらの定めがわたしの前から取り去られるなら、——主の御告げ。——イスラエルの子孫も、絶え、いつまでもわたしの前で一つの民をなすことはできない。」

(エレミヤ書 31:35-36)

基本的に、神は、将官たちやイランの指導者たちに、こう言っておられるのです。

さらに、ロシアの指導者たち、トルコの指導者たち、リビアの指導者たち、スーダンの指導者たちにも言っておられると言えるでしょう。

よく聞いてください。

唯一、太陽と月、それに星が存在しなくなった時のみ、イスラエルは、神の御前で国ではなくなります。それによって、私たちは、ただ一つの結論に到ります。

唯一、それは、神が全てを新しくされた時です。新しい天、新しい地、そして新しいエルサレム。

黙示録 21 章には、こうあります。

23 都には、これを照らす太陽も月もいらない。 というのは、神の栄光が都を照らし、小羊が都のあかりだからである。

(黙示録 21:23)

ですから、永遠の都エルサレムには、ただ信者だけです。もはや、ユダヤ人も異邦人もありません。もはや、イスラエルは国家ではありません。私たちは全員、一つの信者の大家族です。

しかし、その時まで、神が、全てを新しくされるまで、神が、新しい天と新しい地を造られるまで、太陽と月と星が存在しなくなるまでは、イスラエルは、神の御前で国家です。

イスラエルは、滅ぼされませんし、イスラエルを、滅ぼすことは出来ません。

イスラエルは、世に神の存在を証明する為に、あそこに建っているのです。

だから、私は、^{アズイズ ナシルザダ}Aziz Nasirzadaのような、こんな脅しに恐れったり、揺れたりしないようにと全員に言いたいです。

私は誠意を込めて、彼に聖書を読むようお勧めします。

聖書は真の神の御言葉であって、7世紀に、誰かによって書き直され、変更されて、別の宗教の經典になったようなものではありません。

これは正真正銘、変わることはない、元祖、神の御言葉です。

そして主が、全世界に言われます。

「太陽と月と星があそこにある限り、イスラエルはわたしの国だ。」

ということで、確かに、数時間前に大規模な攻撃がありました。確かに、イランは非常に鬱憤が溜まっています。確かに、彼らは大規模な攻撃を計画しています。確かに聖書は、彼らが攻撃すると告げています。確かに、それは他の国々と共に、イスラエルに対する大戦争になります。

確かに、それは綺麗事ではありません。

しかし、イスラエルの勝利はすでに、主によって約束されています。

またそれは絶対に、イスラエルが強いからでもなければ、他の強国が、イスラエルを助けに来る為でもありません。

それは、主ご自身が与えられる、超自然的な勝利です。数々の、驚くべきことが起こります。

地震はもちろんのこと、これらの兵士たちの上に、天から色々なものが降って来て、彼らは、イスラエルの山々の上で滅びます。

ですからこれは、非常に興味深いことになるのです。

信者である私達が、そこにいるかどうか、私には定かではありません。

しかし、イスラエルの人々が、神の御手を見るのは確かです。

今一度、打ち勝ち、今一度、彼らを救い、今一度、彼らのために共におられます。

なぜなら、言っておきますが、ロシアが攻めて来て、さらにイランとトルコ、それにスーダンとリビアが共に攻めて来れば、中東の小さな国としては、神に助けを呼び求める以外、出来ることなど、ほとんどありません。

ところで、これは、イスラエルの人たちが、ずっと行っていることです。

問題が襲った時、患難がやって来た時、ほとんどの場合、何百、何千人という数のユダヤ人が、嘆きの壁や他の多くの場所、多くのシナゴグやその他の場所に集まって、彼らは、文字どおり神に助けを求めて叫ぶのです。

そして聖書には、イスラエルが助けを求めて叫ぶと、毎回、神が彼らと共にいて、彼らを救い出されたことが書かれています。詩篇 107 章にも、それが書かれています。

11 彼らは、神のことばに逆らい、いと高き方のさとしを侮ったのである。

12 それゆえ主は苦役をもって彼らの心を低くされた。 …

13 この苦しみのときに、彼らが主に向かって叫ぶと、主は彼らを苦悩から救われた。

(詩篇 107:11-13)

ですから、私達はこういったことを、覚えていなければなりません。

信者として私達は、ただ強くあるだけでなく、私たちが周辺で目にしていることによって、よく励まされる必要があります。私たちが、世界の出来事を見るのは、驚かされるためだけでなく、私たちがすでに知っている事を、確証するためです。

それに、私たちの将来に関して、私たちの知っていることが加わります。

私たちが主の元に集められること、私達が主と共に地上に戻って来て、彼と共に千年王国を治めること、それと私たちに保障されている、永遠のいのち、永遠のエルサレム。

彼が全てのを新しくされる時の、新しいエルサレム。私たちが永遠に入る時です。

私たちが、励みを得てワクワクすることの出来るものが、非常にたくさんあります。

私達は、数々の脅しを耳にすることになります。私たちは、多くの様々な人々から、興味深い声明を聞くことになります。

ネタニヤフ首相が、ほんの数時間前に発言しました。

「イスラエルの破滅を脅迫するものは誰でも、その結果に耐えなければならない。」

私は、彼が、知っていれば良いのと思いますが、その結果とは、イスラエルの力でも、イスラエルの強さでもなく、結果とは、彼らを守る神の御手です。

ということで、ただ、皆さんを励ましたいと思いました。

私は、ツイッターでほぼ1時間ごとに報告しています。

色々な事が起こっていて、中東の状況は かなり急速にエスカレートしています。

しかし、私が^{おこな}行っているのは全て、人々を怖がらせるためでなく、信者を励ますためです。

それと、未信者の人たちが考え、考え直すようにする為です。

なぜなら聖書は、ただ神の御言葉であるだけでなく、今日の新聞よりも、ずっと正確ですから。

そして私たちは、これらの事が起こるのを見ています。

私たちには、何が起こるかを10年、20年、30年、40年、50年前でも、世に伝える事が出来ました。

私たちは、ユダヤ人が故国に戻る事を知っています。

仮に諸国が略奪し、戦利品を奪う為に攻めて来るなら、イスラエルが繁栄することを、私たちは知っています。

私たちは、ロシア、イラン、トルコが北から、南からは、リビアとスーダンが攻めて来る事を知っています。

私たちは、こういった事を知っています。

それは、私たちがものすごく利口だからではなく、神の御言葉が、私たちに教えてくれたからであって、したがって、過去の出来事が成就したとすれば、聖書が反映している同じ正確さ、信頼性と^{しんびようせい}信憑性が、現在及び、将来的な出来事でも起こるはずです。

イエスの初臨に関する、非常に多くの預言があつて、その全てが、主によって正確に成就されたのです。したがって、私たちが信じない理由はありません。

携挙や、イエスが私達と再臨する事も、聖書が告げている通り、細部にわたって正確に起こります。

ですから私たちは、大いに励まされます。

どうか、皆さん全員が理解しておいて欲しいと思います。

私は、イスラエル人として恐れていません。

私は、家に帰ります。そこでは、私は世界中の他のどの場所よりも、安全であると感じます。

私は、私を贖う方は生きておられる事を、知っています。

私は、私の神がそこにおられる事を知っています。

イスラエルを守られる方は、まどろむことも、眠ることもありません。

彼らの神が、まどろむことも眠ることもないなんて、そんなふうに聖書の中に書かれている国は、他にありません。

4 見よ。イスラエルを守る方は、まどろむこともなく、眠ることもない。

(詩篇 121:4)

私は、神が守っておられる国にいるのです。私は、神の目のひとみである国にいるのです。

私のいる場所は、ただ生き残るだけでなく、繁栄と平和の約束、さらに将来的な患難も約束されています。

しかし、最終的に聖書は告げています。

「異邦人の完成のなる時が来れば、イスラエルはみな救われる。」(ローマ 11:25-26 参照)

ですから、霊的にも、ものすごく素晴らしい事が約束されています。

だから、皆さん全員を励ましたいと思います。

その間に、最も重要なことを行いましょう。

もちろんそれは、迷い出た世に福音を伝える事。

皆さんが理解しておられることを願います。ブラッドムーンは終わり、私たちはまだここにいます。

皆さん、どうか理解してください。神が私たちを迎えに来られるまで、私たちにはするべき事がたくさんあります。

皆さん、どうか理解しておいてください。彼が来られるまで、私たちは、従事しているようにと命じられています。

収穫の畑が豊作です。それらは、熟しています。

私はフィリピンから帰る途中ですが、メッセージする機会がたくさん与えられ、たくさんの伝道の機会が与えられました。

私があちらで経験した中で、最も感動した事の一つは、フィリピン最大の大学に招待された事です。フィリピン ポリテクニク大学、PUP。

聖書奨励月の・・・ドゥテルテ大統領が、毎年1月を聖書の月である、と宣言していて、教授の中の信者たちが、正当にその機会を利用して、イベントを開催しているのです。その一つに私が招かれて、そこで教えました。

私は、1000人以上の学生のいる部屋の中において、彼らに、祝福された希望について教える事が出来ただけでなく、彼らのほとんどが、携挙について初めて耳にしたのです。

彼らは、それについて、これまで一度も聞いた事がなく、彼らの通う伝統的な教会や、福音派の教会でも、それを教えられていないのです。

彼らは、それについて初めて耳にしました。そして、私は、彼らを救いの祈りに導くことが許されたのです。あれは、驚くべき機会でした。

神は、私たちの全員に、世界中の様々な場所で、それを与えておられます。

私たちは、その瞬間を捉えなければなりません。

ですから私たちは、皆に、祝福された希望を伝えなければなりません。

私たちは、人々に希望を与えなければなりません。

希望とは、想像の産物ではなく、イエスが、彼に従うものにくださった、最も重要な約束です。

彼は、言われたのです。

- 2 「…もしなかったら、あなたがたに言うておいたでしょう。あなたがたのために、わたしは 場所を備えに行くのです。
- 3 わたしが行って、あなたがたに場所を備えたら、また来て、あなたがたをわたしのもとに迎えます。
- 4 わたしのいる所に、あなたがたをもおらせるためです。」

(ヨハネ 14:2-4)

イエスは、あちらにおられます。

彼は、「あなた方のいる所に、わたしもいる。」と言われたのではなく、

彼は、「わたしのいる所に、あなたがたをもおらせる。」と言われたのです。

彼は、間もなく来て、私たちを連れて行ってくださいます。

そのため、第一テサロニケ4章は、「ご自身天から下って来られます。」と告げているのです。

彼は、天におられます。

ですから彼は、再び、御座を降りて、雲の中まで下って来られます。

そして私たちは、空中で主と会い、彼が、私たちを連れて行ってくださいます。

主が、私たちのためにこの2000年の間、ずっと働き、用意してくださっている豪邸です。素晴らしいはずです。これが、祝福された希望です。

私の希望は、この世にはありません。私の希望は、これではなく、これが、神に出来る最高ではありません。

ここは崩壊した世で、全ての被造物は呻きながら、贖うめわれるのを待っています。

私達は、この体から贖あがなわれるのを望んでいます。第一コリント15章が、私達全員に約束しています。

- 51 聞きなさい。私はあなたがたに奥義を告げましょう。私たちはみな、眠ることになるのではなく変えられるのです。

(第一コリント 15:51)

ですから、この卑しい^{いや}体は、私達と永遠に共にいるのではありません。

52 …たちまち、一瞬のうちにです。ラッパが鳴ると、死者は朽ちないものによみがえり、私たちは変えられるのです。

(第一コリント 15:52)

私たちの死にゆく細胞は変えられ、私たちの体は、栄光の体に変えられます。

引力は、もはや、私たちをこの地上に引き止めません。私たちはここを出て行きます。

世は、それについて何と言い、どう説明するのだろうかと思います。

私は、恐らく、何らかの形で、地球が自ら浄化したと言うだろうと思っています。

多分、宇宙人が来たとか何とか言うのでしょう。今、すでに、そんな説は浮上していますから。

彼らは何と言おうと、私は構いませんが、私たちが、ここから取り去られる時、1人でも多くの人が、共に行けるようにと願います。

私の夢は、ここにいることではなく、私の家は、ここではありません。

私の国籍は、この世ではありません。これが私たちには必要です。

聖書には、コロサイ 3章にこうあります。

1 こういうわけで、もしあなたがたが、キリストとともによみがえらされたのなら、上にあるものを求めなさい。そこにはキリストが、神の右に座を占めておられます。

(コロサイ 3:1)

ですから私たちは、このようなことを求めなければなりません。

私たちは、携挙を求めなければなりません。私たちは、私たちが天国で過ごす時間について考えなければなりません。

私たちは、主の足元に差し出す冠について、考えなければなりません。

私たちは、小羊の婚宴について考えなければなりません。

私たちは、彼と共に戻って来ることについて考えなければなりません。

私たちは、私たちが彼と共に統治する、千年王国について考えなければなりません。

私たちは、残りの世に降りかかろうとしている、驚くべき裁きについて考えなければなりません。

そして、私たちは、彼と過ごす永遠について、考えなければなりません。

そこにはもう、神殿もなく、太陽も月も星もない。

主ご自身が、初めに世のひかりであられたように、あちらでも、そうなります。

彼は、もちろん、神殿そのものです。そこでは、もはや、物理的な神殿は必要ありません。

ですから、私は、ワクワクしています。

世の出来事は驚愕ですが、私は、皆さん全員を励まします。

これから先に進むにつれ、ものごとはさらにどんどん激しくなって、多分、世界中で暴力的にさえなるでしょう。

ですが、しっかりと自分に言い聞かせましょう。

私達は、目的があってしばらくの間、ここにいるのです。

イエスは、ヨハネの福音書の中で祈られた時、このように言われました。

15 (父よ。)彼らをこの世から取り去ってくださるようというのではなく、悪い者から守ってくださるようお願いします。

(ヨハネ 17:15)

主は、目的があって、私たちをここに残されたのです。

そして彼は、私たちを迎えに来ると約束してくださったのです。しかし、それまでは、彼が私たちのために祈っておられます。

私たちが悪い者から守られるように。

ただ、私たちがここにいる目的は、私たちが、福音を伝えなければならないからです。

私は、これを、緊急に 皆さんに伝えなければならないと感じました。

もし、皆さんがツイッター「Behold Israel」や、フェイスブック、ユーチューブや何かで、私をフォローしておられるなら、政治家や、将官達や、その他、イスラエルの敵の発言に、時々怖くなる時があるでしょう。もし、あなたに救いの保証がなければ、これらの事は、かなり恐ろしいはずで。しかし、思い出さなければなりません。

なんとも言いますが、私たちの希望は、この世にはありません。

そして私たちの祝福された希望は、もう、すぐそこまで迫っています。

ですから、良い仕事を続けましょう。しっかり働いて、大宣教に励みましょう。

そして私たちの全員が、美しい言葉を聞けるように。「よくやった。良い忠実なしもべだ。」

さて。私はもうすぐ飛行機に乗ってヨーロッパに向かい、そこからイスラエルに戻ります。

ここシンガポールで、少し、皆さんに励ましの言葉をお分かちしたいと思いました。きっと勧告も含まれていたでしょう。

多分、次にフェイスブックで皆さんにお話しするのは、愛する私の自宅になると思います。

ガリラヤから、もしくはエルサレムの都からでしょう。

シャローム！ありがとうございます。God bless you!

さようなら。

メッセージ by Amir Tsarfati/Behold Israel : <http://beholdisrael.org/>